

稚内市ヒグマゾーニング計画

令和8年1月

 稚内市

1. はじめに

(1) 本計画の趣旨

北海道では、「北海道ヒグマ管理計画（第2期）」において、人とヒグマとの空間的なすみ分けを行い、効果的なあつれきの低減を図ることを目的に、ゾーニング管理を推進することを位置づけています。

稚内市では、地域の関係者からの意見や情報をもとにゾーンを設定し、各ゾーンにおいて被害防止対策や出没対応を具体的にどのように取り組んでいくかを整理し、各関係者が共通の理解を持ってヒグマ対策を行うべく、本計画を定めました。

(2) 位置づけ

本計画は、ヒグマ対策を効果的に実施していくために、対応の目安などをあらかじめ定めたものです。ヒグマへの対応、特に出没に伴う捕獲の判断などは、その事例に応じた情報に基づき、その安全性等を検討することが必要になるため、関係者が本計画を踏まえた共通認識のもと、スムーズに連携を行い、検討を行います。

また、本計画は対応の目安とし、特に計画期間等は設けませんが、その運用にあたって不都合が生じないよう、必要に応じて順次修正を行うこととします。

なお、ヒグマ対策に関して、ゾーニング管理を前提とした国の交付金等を受けることとした場合、交付金等の事業実施計画作成に当たり本計画を参照することがあります。

2. 各ゾーンの定義

| ゾーン | コア生息地 | 緩衝地帯 | 防除地域 | 排除地域 |
|--------|-----------------------------------|----------------------|------------------------------|------------------------|
| エリア概要 | 健全な個体群の維持（繁殖や生息）を担保するうえで重要な奥山等の地域 | コア生息地と防除地域・排除地域の間の地域 | 農業、水産業、企業活動、観光産業など人間活動が盛んな地域 | 市街地、集落内の住居集合地域等の人間の居住地 |
| ヒグマの生息 | ヒグマの生息域 | ヒグマの行動域 | ヒグマの定着は許容しない | ヒグマの侵入は許容しない |
| 人間の活動 | ヒグマの存在を前提とした限定的な利用（登山など） | ヒグマとの遭遇を想定した利用 | 日常的な利用があるが、人の目が届かない時間・場所も多い | 日常的かつ高密度な利用 |

3. 各ゾーンの対応方針

| | コア生息地 | 緩衝地帯 | 防除地域 | 排除地域 |
|------------------|--|---------------------------|--|----------------------------|
| ヒグマへの対応方針 | ・ヒグマの生息に配慮 | ・問題を未然に防ぐ | ・寄せつけない ・被害を防除 | ・入らせない ・入ったら迅速に対応 |
| 具体的な取組内容 (目安) | ・生息地の保全 ・問題個体以外の捕獲は行わない ※春期管理捕獲を除く | ・捕獲による個体数の抑制 ・農地等の維持管理 | ・誘引物の適切な管理 ・被害防止のための捕獲 ・排除地域への侵入抑制 | ・市街地への侵入防止 ・緊急時の対応体制の整備 |
| | (共通) 出没情報の収集・発信・普及啓発・調査研究の促進 | | | |

4. ゾーンごとの取組

ゾーンごとの主な取組及び特に取組を重点的に推進する地域は以下のとおりです。

ゾーニング管理を通じて、これらの取組を推進していきます。

<主な取組>

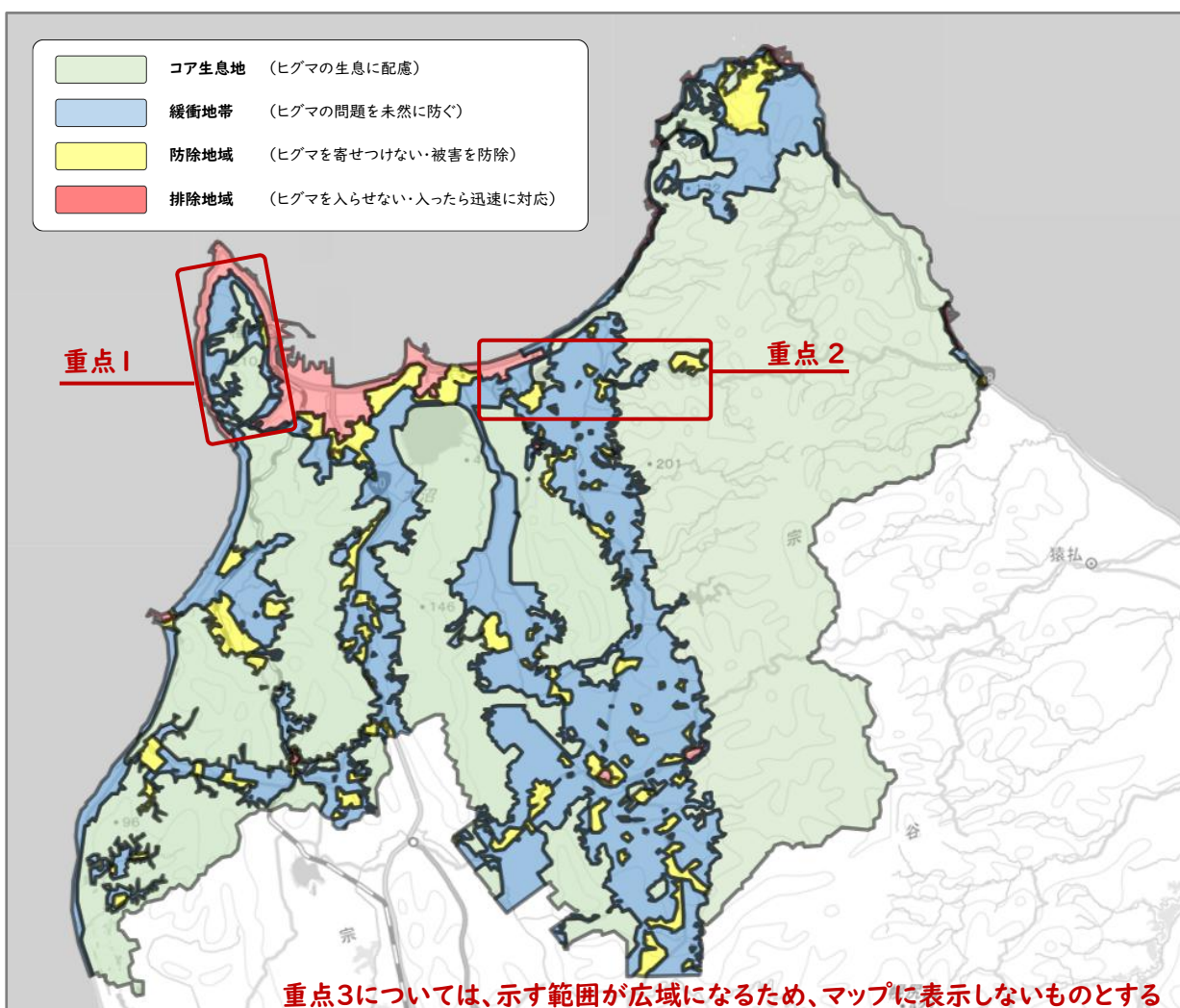
| 主な取組 | コア生息地 | 緩衝地帯 | 防除地域 | 排除地域 |
|----------------------|-------|------|------|------|
| 被害防止のための捕獲 | — | ○ | ○ | ○ |
| ゾーニング管理としての捕獲 | — | ○ | — | — |
| 春期管理捕獲 | ○ | ○ | — | — |
| 目撃情報の収集及び注意喚起の発信 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 農業被害防止のための電気柵設置 | — | — | ○ | — |
| 作物残渣と廃棄物(生ごみ等)の適正処理 | — | ○ | ○ | ○ |
| ヒグマ出没時における対応訓練 | — | — | — | ○ |
| 出没情報の収集・発信・普及啓発・調査研究 | ○ | ○ | ○ | ○ |

<取組を重点的に推進する地域>

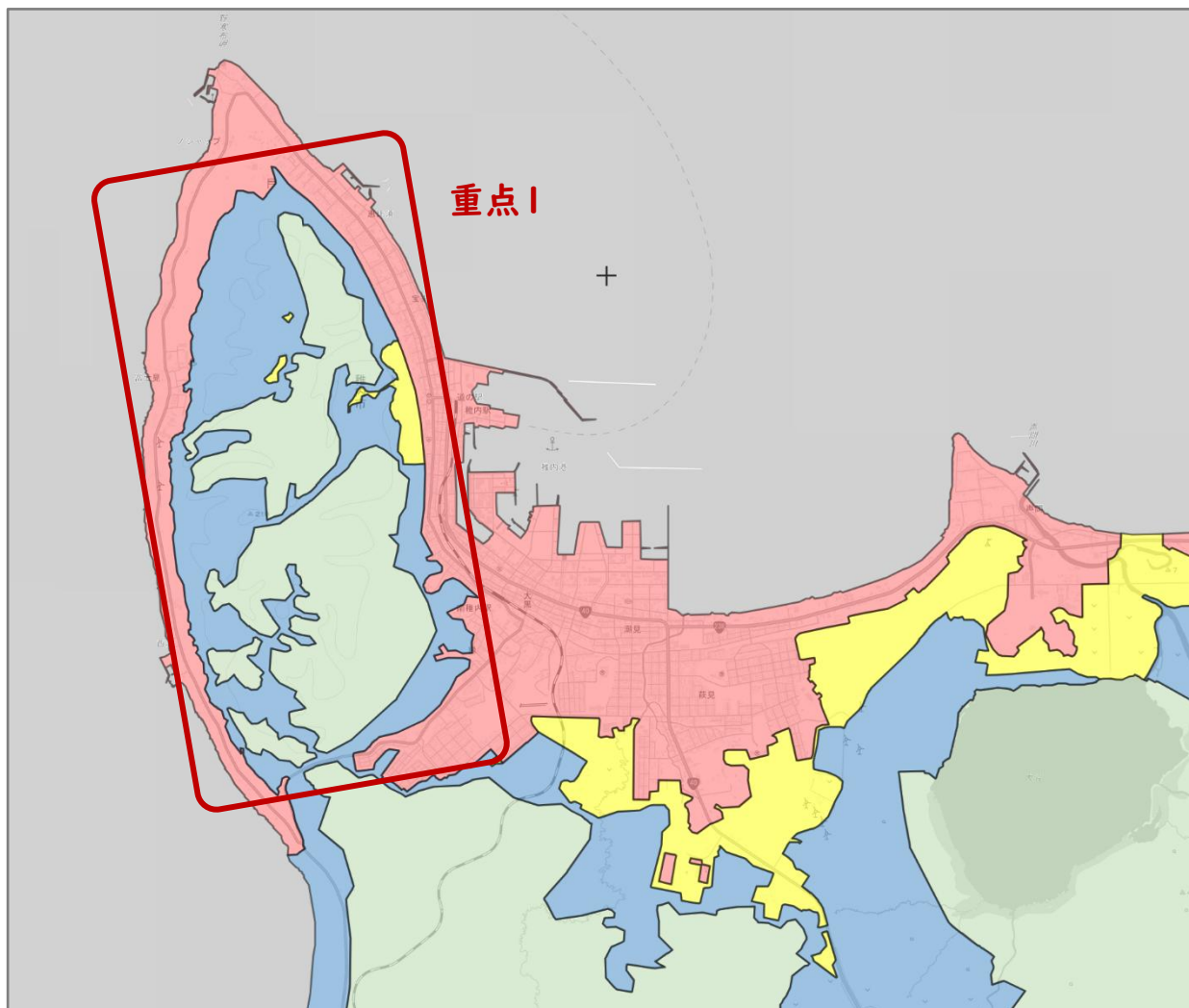
| No | 地域 | 概要 |
|------|------------------------------|--|
| 重点 1 | 市街地裏山周辺 (ヤムワッカナイ地区 周辺) | 市街地に近接するヒグマの生息域(国有林)があり、市街地への出没ルートの起点になっているため、市街地への出没防止に向けて対策が必要である。 |
| 重点 2 | 稚内空港周辺 (増幌地区周辺) | 空港やゴルフ場、観光施設等に近接するヒグマの生息域があり、人の日常生活圏内への出没が確認されているため、被害防止に向けて対策が必要である。 |
| 重点 3 | 市内農村部 | 農村部の多くは、ヒグマの生息域に近接している緩衝地帯となっており、出没も確認されている。また、デントコーンやロールパックサイレージ、草地の表面が荒らされる被害等が確認されているため、被害防止に向けて対策が必要である。さらに、放牧されている家畜(主に乳牛・肉牛)が被害に遭わないよう注意する必要がある。 |





5. ゾーニングマップ

全体図



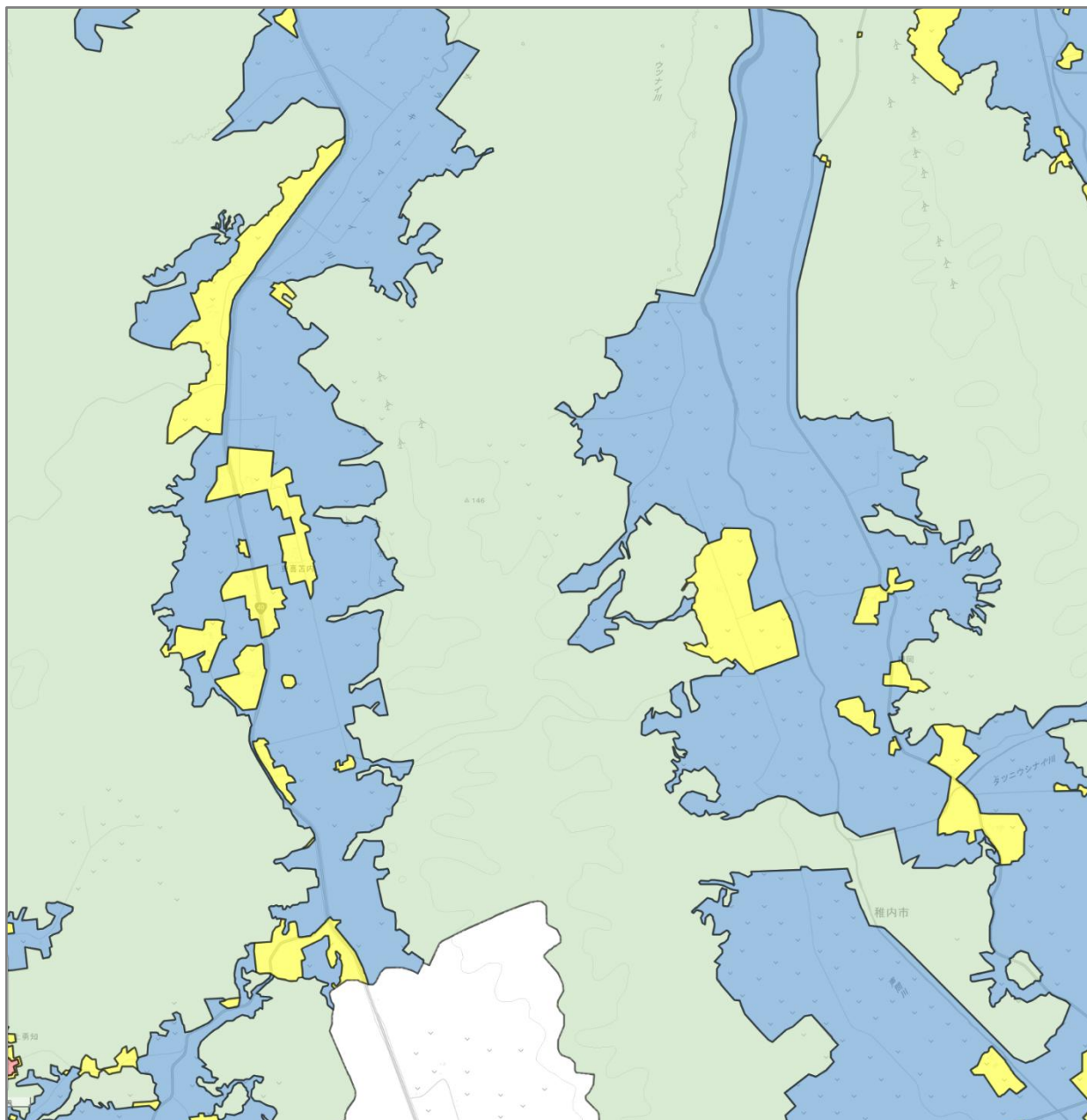
市街地







| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |

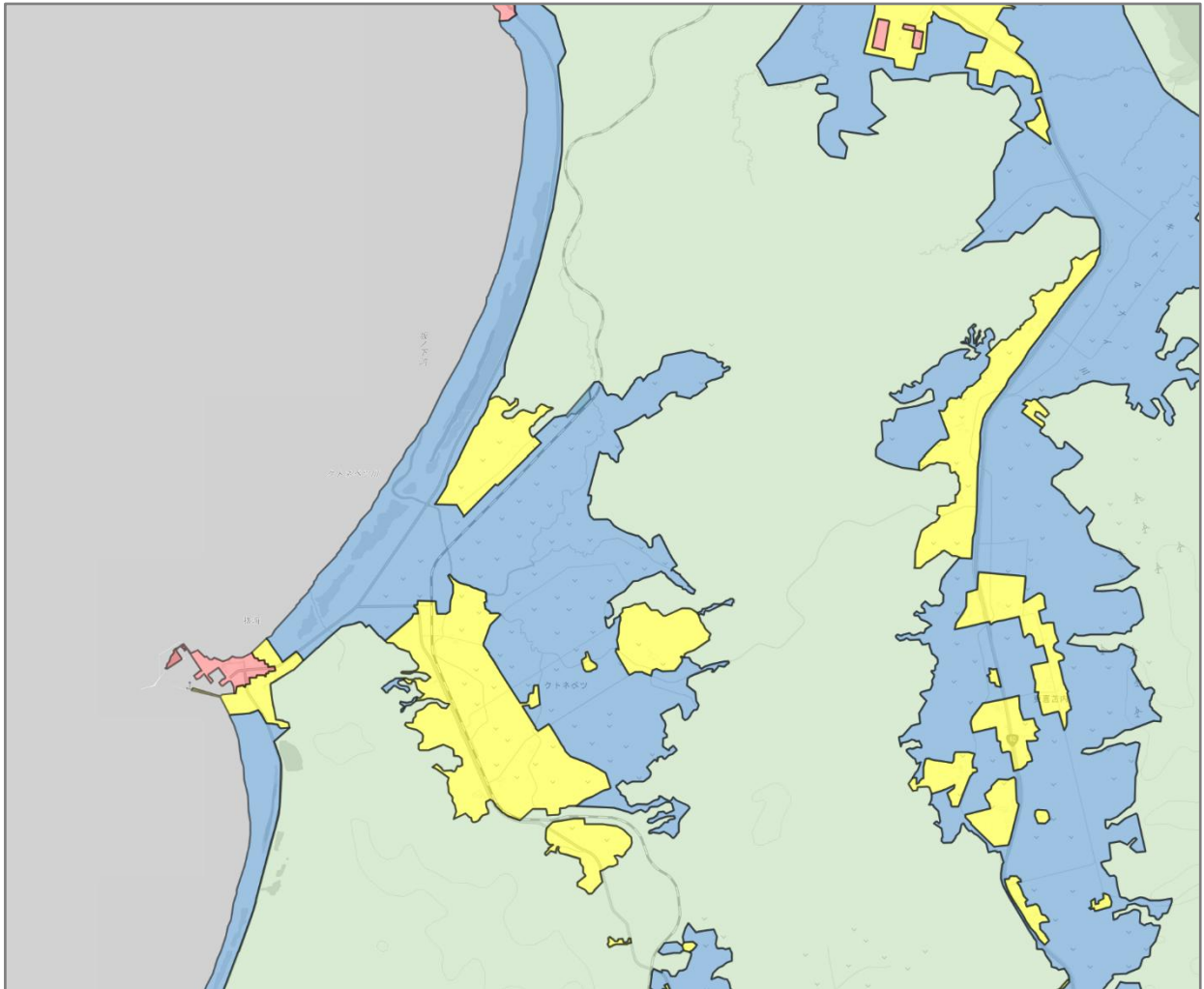
| No | 地域 | 概要 |
|------|------------------------------|--|
| 重点 I | 市街地裏山周辺 (ヤムワッカナイ地区 周辺) | 市街地に近接するヒグマの生息域(国有林)があり、市街地への出没ルートの起点になっているため、市街地への出没防止に向けて対策が必要である。 |



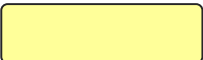

サラキトマナイ・樺岡地区

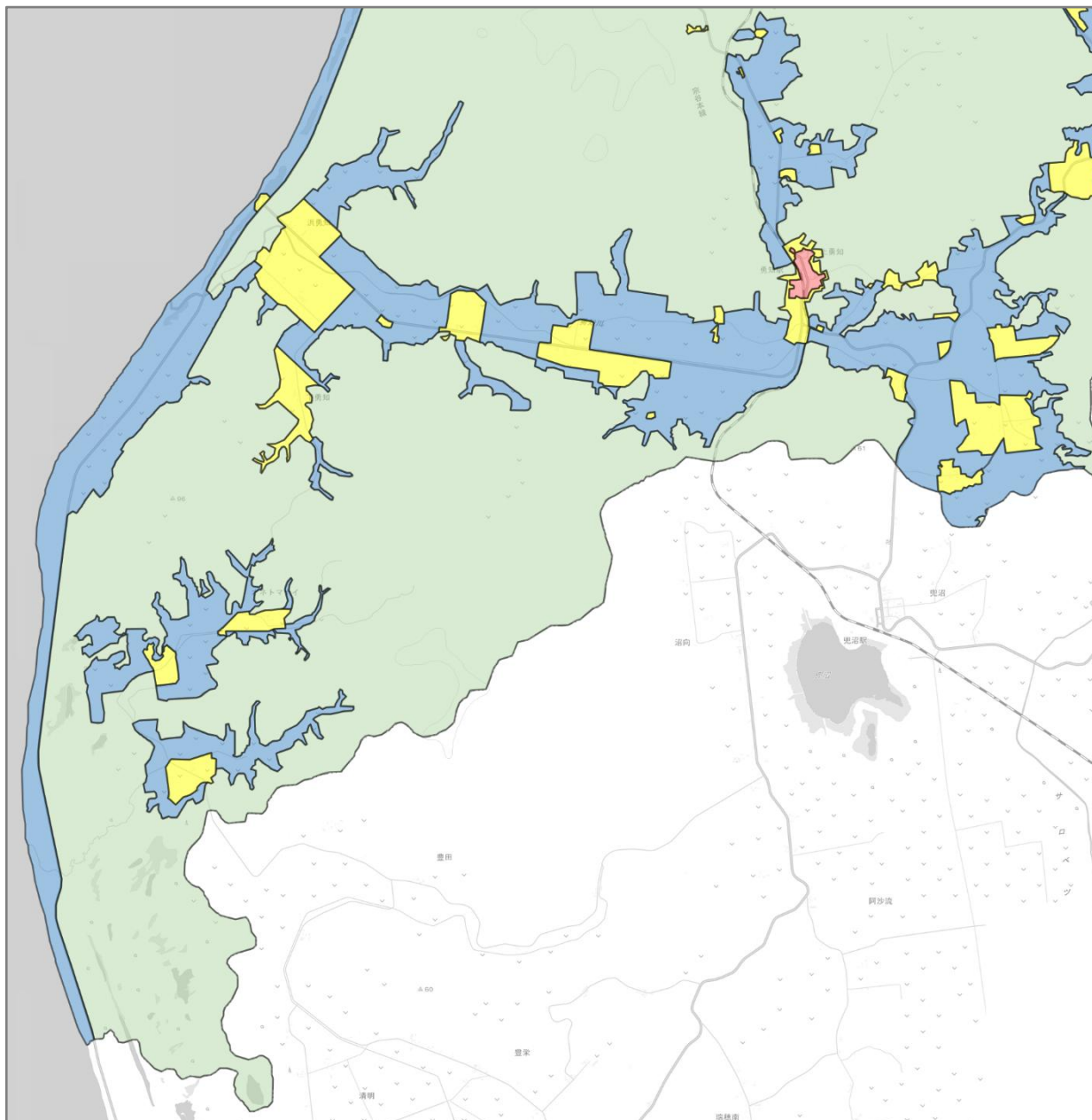






| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |

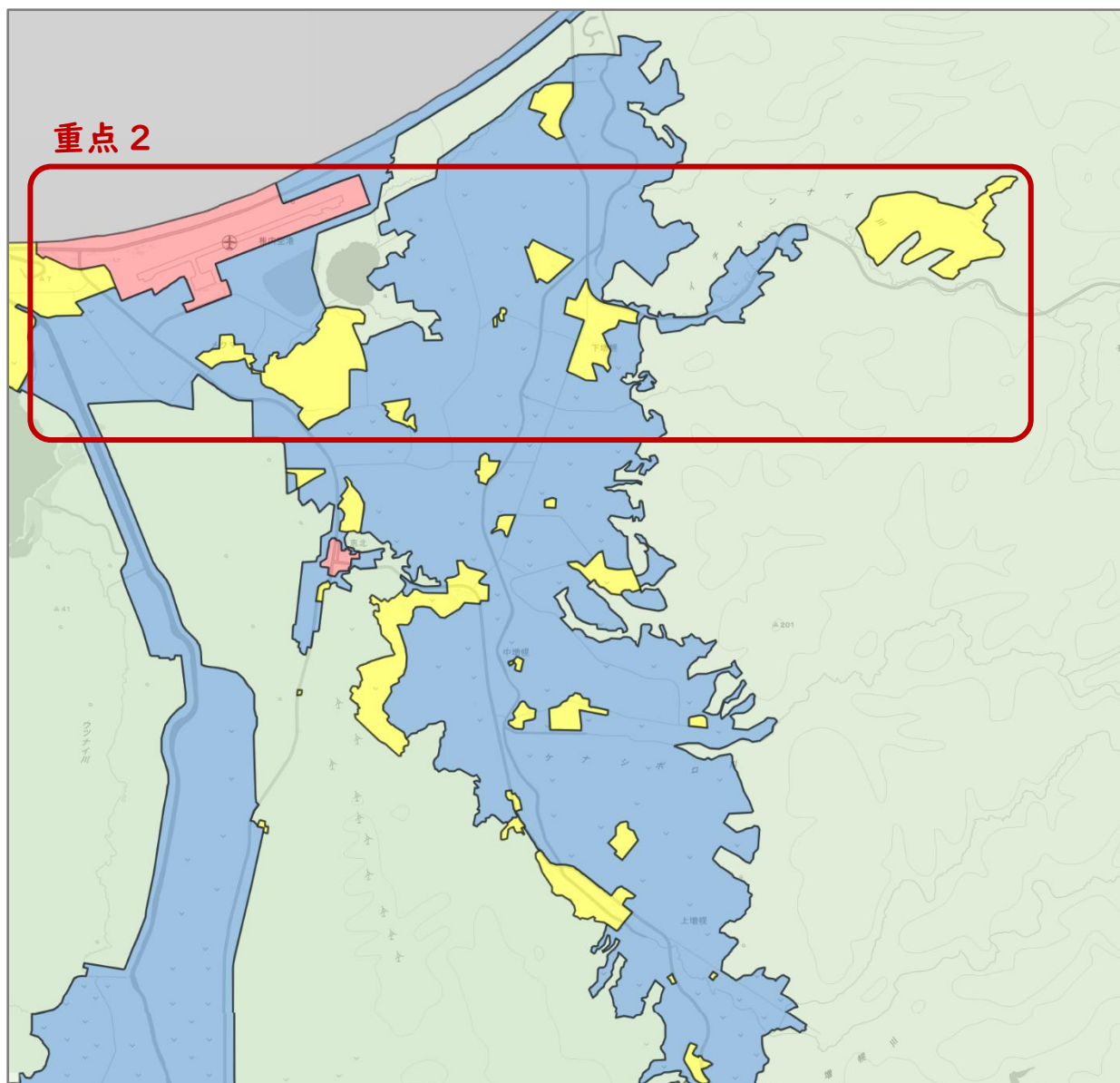
抜海・クトネベツ地区



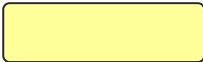



| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |



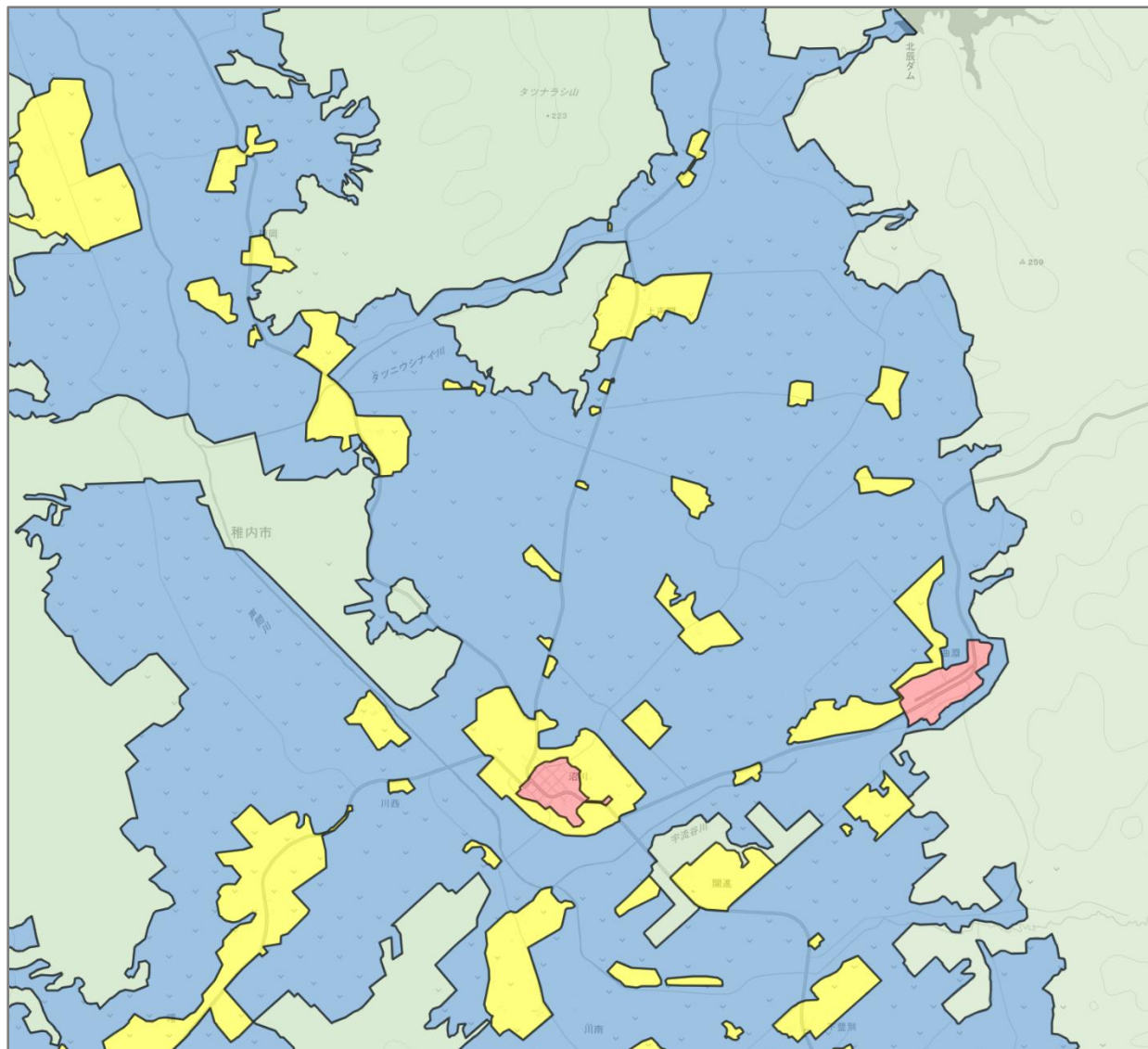
| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |







| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |

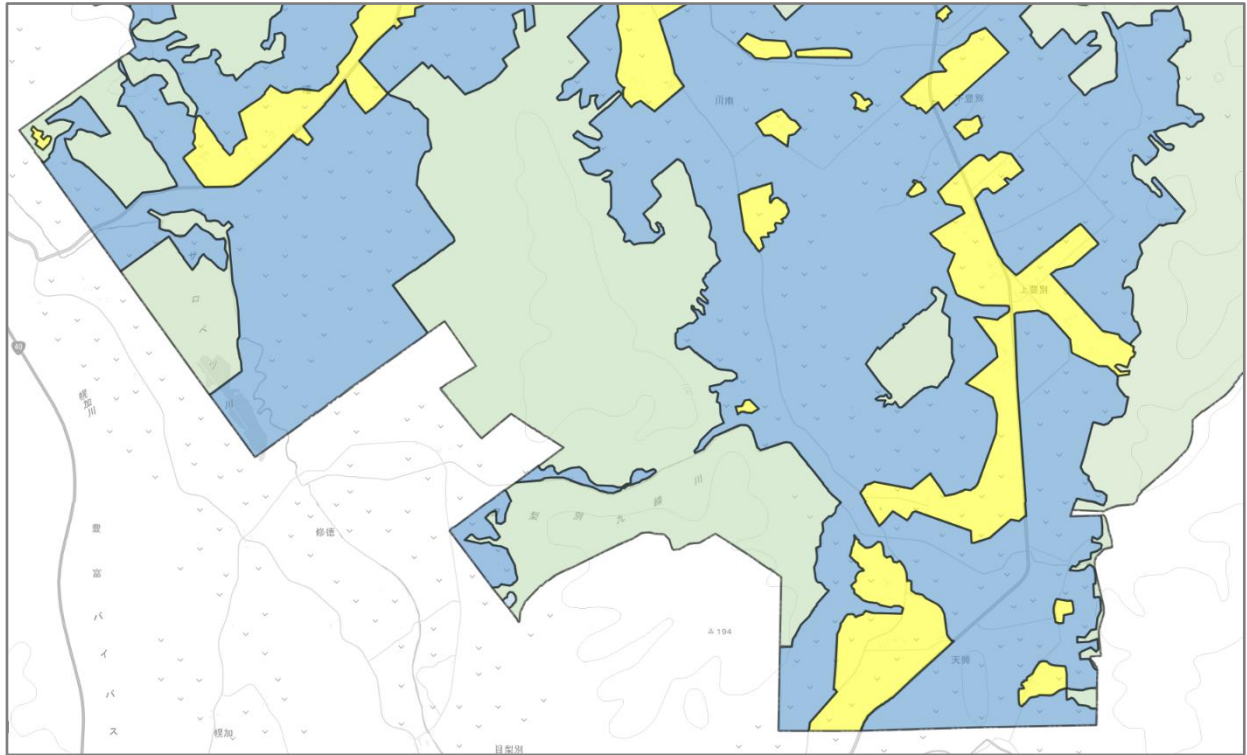
| No | 地域 | 概要 |
|------|--------------------|---|
| 重点 2 | 稚内空港周辺 (増幌地区周辺) | 空港やゴルフ場、観光施設等に近接するヒグマの生息域があり、人の日常生活圏内への出没が確認されているため、被害防止に向けて対策が必要である。 |



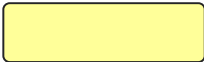

上声間・沼川・曲淵・開進・川西地区



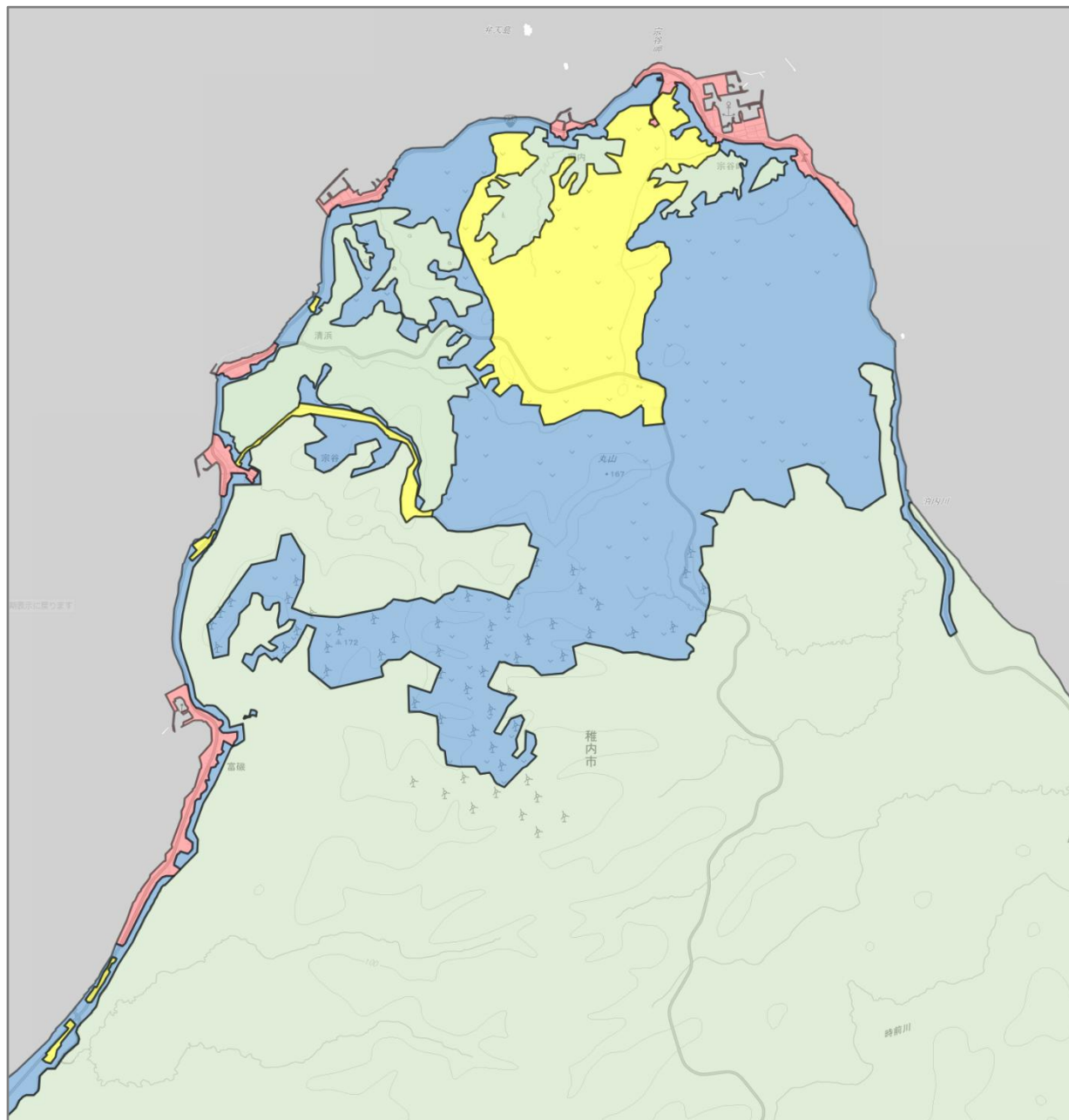
| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |





川西・曙・川南・豊別・天興地区



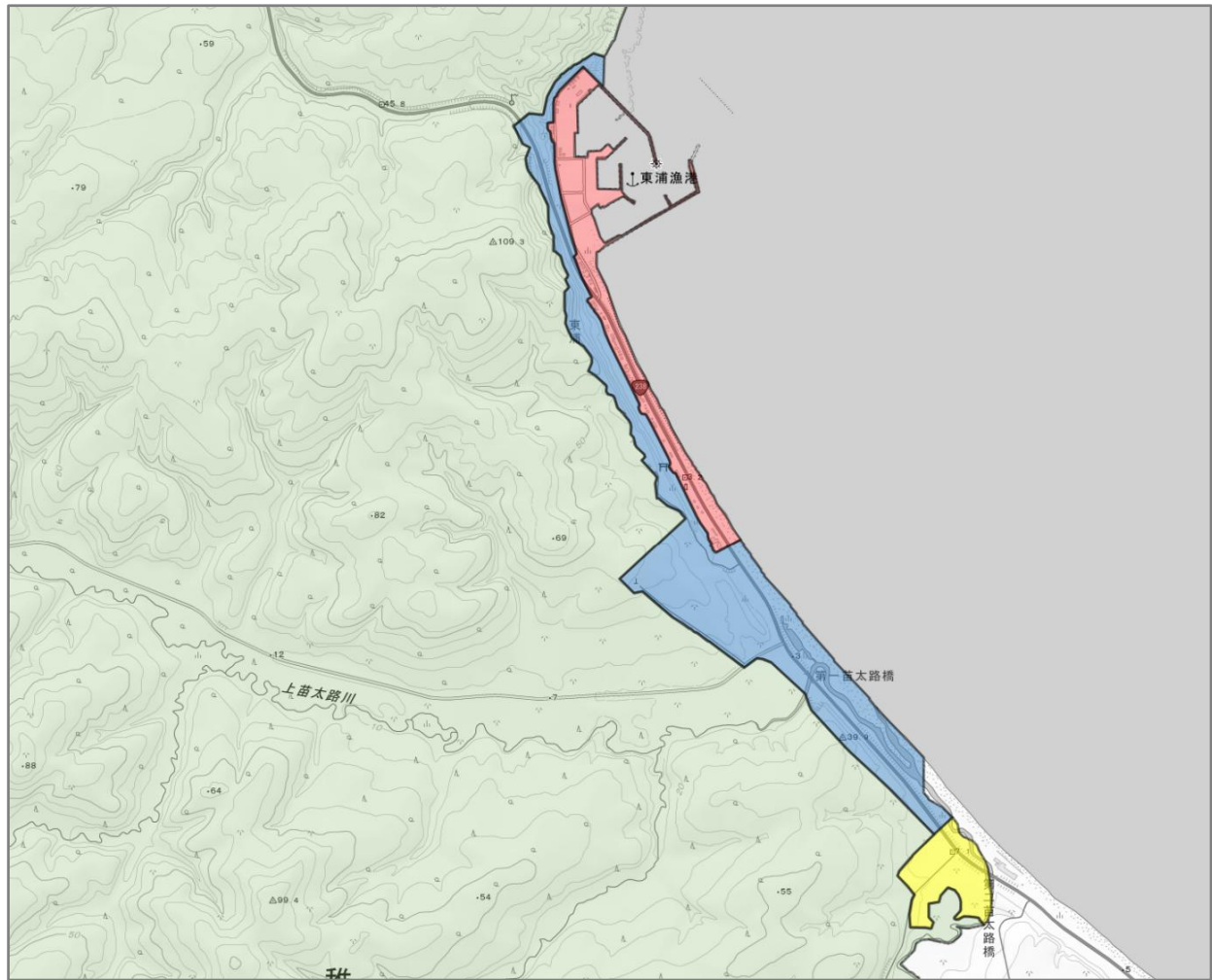
| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |





富磯・宗谷・清浜・宗谷岬地区



| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |

東浦地区



| | | |
|---|--------------|-----------------------|
|  | コア生息地 | (ヒグマの生息に配慮) |
|  | 緩衝地帯 | (ヒグマの問題を未然に防ぐ) |
|  | 防除地域 | (ヒグマを寄せつけない・被害を防除) |
|  | 排除地域 | (ヒグマを入らせない・入ったら迅速に対応) |